

発行所(郵便番号100)  
 東京都千代田区丸の内2-4-1  
 丸ノ内ビルディング781号室  
 社団法人スウェーデン社会研究所  
 Tel (212) 4007・1447  
 編集責任者 中 嶋 博  
 印刷所 関東図書株式会社  
 定価200円(年間購読料参千円)  
 1988年12月25日発行  
 第20巻 第12号  
 (毎月1回25日発行)  
 昭和44年12月23日第3種郵便物認可

# スウェーデン社会研究月報

Bulletin Vol. 20 No.12

Japanska Institutet För Svensk Samhällsforskning  
 (The Japanese Institute for Social Studies on Sweden)  
 Marunouchi-Bldg., No.781, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan.

## 東京のスウェン・ヘディン

Sven Hedin in Tokyo

顧問 小野寺 百合子  
 Adviser, Mrs. Yuriko Onodera.

「スウェン・ヘディンと楼蘭王国展」という展覧会が10月中旬から東京で開かれた。スウェン・ヘディンといえば、スウェーデンの生んだ大探検家として世界中の青少年の血を湧かせた人である。彼は地理学者で前世紀から今世紀にかけて、四回も未開のシルクロードを探検し、命をかけて砂漠に埋れていた楼蘭王国やさまよえる湖ロブ・ノールを発見し、正確な地図を作り詳細な記述は大著となって残した人である。彼が遺蹟から持ち帰った発掘品の数々は、ストックホルムの国立民族博物館に保存展示されている。それが今回、最初の国外持ち出し展示国として日本が選ばれ、国宝級の貴重品を含む多数の品々を日本人に見せてくれたのである。これら重要文化財は厳重に梱包され空輸されてきたのだそうだ。民族博物館々長ウツラ・ワグナー女史とともに会場を巡りながら、約半世紀前よくディナーの席で隣りで語り合ったヘディンのことを憶い、また度々博物館を訪れて見たことのある展示品に久しぶりに会って感無量であった。

今年の7月から9月にかけてはスウェーデンの国立美術館が日本へ来た。スウェーデン独特の画家たちの作品とともに、同美術館のスウェーデン好みのコレクションの中から代表的なものが選ばれていた。「澄みわたるロマンティズム」と副タイトルがつけられていた通りまことにさすがらしい展示会であった。

スウェーデンでは今年は「ジャパン・デー」の

催しがあって、日本への関心を一段と高めたということもきいた。

日本とスウェーデンの関係は、いつときの興味本位または表面的な関心から、今日では真面目な各分野におけるレベルの高い学術的交流や密度の高い商取引にまで発展して来たばかりでなく、このような文化面にまで関係を持つようになったことを痛感する。

民族博物館々長ワグナー女史との会話のうちに女史が私どものスウェーデン社会研究所の役割を高く評価しておられることを知った。それについても私どもの研究所が日本とスウェーデンにとつての使命を一段と重く感じないわけにはいかなかった。どちらからも期待されていることを十分自覚して私どもは何をなすべきか積極的に考えていかなければならないと思う次第である。

### 目次

東京のスウェン・ヘディン …小野寺百合子… 1
〈Stockholm 通信〉 88/89年度の入学許可状況 および“横門”からうまく大学へ入る方法 について ……………三瓶恵子… 2
寄稿 人手不足に悩むスウェーデンの医療 ……………宇野 裕… 4
〈ニュース〉 岡沢憲美教授出版記念会 …… 5
新刊紹介 女たちのスウェーデン …… 5
SIP ニュース …………… 5
昭和63年度研究月報目次一覧 …………… 6

## 88/89年度の入学許可状況および“横門” からうまく大学に入る方法について

Admission Points to Higher Secondary  
Education and to Higher Education  
for School Year 88/89 and also about  
How to Become a University-Student  
Cleverly.

会 員 三 瓶 恵 子  
Ms. Keiko Kjellsson-Sampej.

例外的に暑かった今年の夏もあっという間に去り、もう秋の気配がしています。各学校の新学期も先週からはじまり、バスや地下鉄も“冬時間”のタイム・スケジュールになりました。今回は夏休み中に発表された高校・大学の入学許可状況と、いかにして“うまく”大学に入るかということについて書いてみようと思います。

スウェーデンでは高校・大学とも入学試験はおこなわれず、原則として前段階の学校の成績（いわゆる日本でいうところの内申書、5段階評価）によって選抜がなされます。

まず高校入学許可の方からみますと、全国的にみて地域によってかなり格差があることがわかります。たとえば4年制技術系についてみれば、ハルムスタード、カールスタード、ウプサラ、エステルズドでは最低3.4の成績（基礎学校第9学年秋学期の各科目の成績の平均点）でなければ入れなかったのに対し、ヴィスビーでは同2.5で入学許可されています。3年制社会科学系では、一番入りにくかったのはカルマル、クリスチャンスタードで最低成績3.7、入りやすかったのはエーレブローで2.6という結果がでています。地域差とともに各系の差も歴然としており、人気のある経済、社会、自然の理論系各コース（地域によって最低2.7～3.7）と人気のない2年制製造業技術系コース（同1.4～2.4）の間ではかなり点数にひらきがあります。

ストックホルム地区でみますと今春基礎学校第9学年を卒業した“新卒者”で高校入学を希望した17508人のうちどこにも入れなかった者は1340人（7.7%）でした。これに基礎学校卒業後2～3年労働生活その他をしていた“旧卒者”ともっ

と年をとっている“成人”を加えますと、高校入学希望者30855人のうち12141人（39.4%）が入学許可されなかったこととなります。しかし、“旧卒者”や“成人”を加える統計は、他に成人教育の高校コースがあること、移民が多いこと等の状況を考えて判断すべきものなので“40%近くが入れない”と数字におどろかされるべきではないと思われま

す。ストックホルムの高校で入るのが一番むずかしかったのは音楽系（最低平均成績4.2）、フランス語学校の自然系（同4.5）等で、逆に希望者全員が入れたのは社会福祉、看護系等でした。

大学入学許可に関しては、志願者を大別すると5つ（細かく分けると8つ）のグループに分け、グループ毎に選抜をするので話が少しめんどうになりますが、まず一番比較しやすいD1グループ（高校の3年制または4年制コースを最近3年以内に卒業した者。最高成績ポイントは5.0になる）をみますと、例年のごとく一番入るのがむずかしいのは医科系（最低成績5.0）、ジャーナリスト系（ストックホルム大学5.0、ヨーテボリィ大学4.9）、中学・高校の語学教員養成系（ウーメオ大学のスウェーデン語／ドイツ語は4.2、その他は4.7～5.0）等で、逆に比較的入りやすかったのは職員教育・労働生活系（2.7～4.0）、小学校自然系教員養成系（2.9～3.4）等です。

この数字をもう一度反芻してみますと、医科にはオール5の成績をとっていないと入れないということになります。実際にはオール5でも入れない志願者がでてきます。で、その人達はどうかといえば、何年か労働生活（何の職業でも可）を送りポイントをかせいで他のグループに入って

志願をしなおすわけです。

この志願者のグループをくわしく紹介しますと次のようになります。

#### D 1. 上述

1. 高校の3～4年制コース卒業生又はスウェーデンで同等の教育を受けたもの。最高のポイントは6.7(成績5.0+労働生活経験1.7)。

D 1の志願者も全員このグループに入りもう一度選抜されるチャンスをもつ。

D 2. 高校の2年制コース、または特別コースを最近3年以内に卒業したもの。最高ポイント5.0。

2. 高校の2年制コース、または特別コース卒業生又はスウェーデンで同等の教育を受けたもの。最高ポイントは6.7(成績5.0+労働生活経験1.7)。D 2の志願者も全員このグループに入る。

3. 国民高等学校出身のもの。最高ポイント5.7(学習評価点4.0+労働生活経験1.7)。

4. その他の志願者。特に25歳以上で4年以上の労働生活経験をもつこと(25:4ルール)により一般受験資格を得たものがこのグループに入る。また5段階評価でない(たとえば2段階、3段階等)成績をもつもの、外国で高校教育を受けたもの(本来のグループ5)もこのグループに入る。高等教育テスト(適性検査)の点と労働生活経験ポイントにより最高点は3.7。第4グループのうち半分はこのグループのみに属する者に配分される。

4 A. 第4グループのみに属するもの。

4 B. 第4グループとその他のグループ複数に属するもの。

5. 外国での教育を受けた者。

というように、いろいろ複雑なのですが、ここでついでにエクスプレッセン紙に紹介された“横門”から大学に入る方法というのに少しふれたいと思います。

その一つは“廊下のキツネ”法で、新学期開始のバタバタしている時に学部の受け付けに何回か顔を出し自分を売り込むというものです。学期のはじめの事務所はどこでも大変バタバタ、ゴタゴタしており、一定の期限内に定員をうめなければならぬ事務職員のストレスは相当なもので、連絡のとれない補欠者のかわりに“廊下のキツネ”氏を入れてしまうことがままあるそうです。とい

うのも合格者が全員実際に入学することは医科系を除いてはほとんどなく、大学にあらわれた者でも教授陣の講義の説明等をきいてから、自分の期待していたものところがうとってやめるケースもかなり多いのです。なにせ志願料タダ(上述第4グループの高等教育テストは100クローナ≒2200円)、入学金ナン、授業料タダ、登録料半期120クローナ(≒2500円)ですから、“お金がもったいない”ということは全然ないのです。補欠合格者の決定については各大学・学部等が自主的に決めることが許されています。

次のもう少し“正当な方法”は、秋学期はあらかじめ春学期から入るといえるものです。春学期からはじまるコースは入学最低点が秋学期より平均して低いのが普通です。ただしすべてのコースが春学期にあるわけではないので事前によく調べておくことが必要です。

またコツコツ型の人には、個別コースでとにかく中に入るという手もあります。多くの競争率の高いレディ・メードのコース(ラインとよばれています)と併設して大学の中には個別コースが多く用意されています。これは日本の聴講制度に似ていものですが、各コースともちゃんと単位がとれるようになっているところが“ミソ”で、一つ一つのコースの単位をためていけば、やがて全課程を終えられるようにすることも不可能ではありません。この個別コースの入学許可は各学部が独自におこなうので、より細かい選抜がなされ、成績だけでなく人物的背景、志望動機等“その他の要素”が考慮に入れられ成績をカバーすることができます。

もっと“正当な方法”としては、低い成績を地方自治体成人教育のコースで高めるという道もあります。

また何かの手ちがいで不合格になったとしか思えない人は、異議申したて委員会に訴えることができます。

スウェーデンの学校には原則として入学試験がないので(体育系、音楽系等は実技試験あり)、入試地獄というのはありませんが、中学、高校の最終学年は、やはり進学希望者はガリ勉になって少しでも成績をあげようとするようです。また逆に最終学年になって勉強ギライになって“低空飛行”で学校を卒業し、その後何年か社会でもまれてから自分の適性をみきわめて学校に戻るとい

のもまれではありません。そのまま戻ってこない人もいますが。

スウェーデンの教育制度のよい点は上でご紹介したようにとにかくやりなおしがきくということにあります。社会もまたやりなおしてきた成人を直接あがってきた若者と同等あるいはそれ以上に評価します。スウェーデンの中等以上の教育は職業教育、職業準備教育なのであって、いいかえれば教育は目的ではなく手段であるということが徹

底しているわけです。日本の入試地獄と比較すればこのスウェーデンのやりなおしのきく制度はまったくらやむべきものです。国家経済の点からみてどちらがトクかという問題はまた別にして。

参考：Dagens Nyheter 紙 1988-7-8

” 1988-7-12

Expressen 紙 1988-7-12

Svenska Dagbladet 紙 1988-7-16

(1988. 8. 15)

## 寄稿

# 人手不足に悩むスウェーデンの医療

在スウェーデン日本大使館一等書記官 宇野 裕

Mr. Hiroshi Uno.

近年、医療や福祉サービスの分野で人手不足が深刻になってきている。若年層を中心とした職場定着率の悪化や、看護学校等での深刻な定員割れなど、労働者の「福祉離れ」が目立っている。医療・福祉サービス従事者の賃金は相対的に低く、社会的ステータスも決して高くはないと言われており、順調な経済発展に伴って民間企業へ向かう者が増えていると考えられる。人手不足は特に看護婦の場合深刻で、全国で6000人の不足があると計算されている。(1985年現在の看護婦数は69,261人)

このような中で、3月初め、スウェーデンで最も高水準の医療技術を誇るカロリンスカ病院(ストックホルム県営)が、腫瘍科看護婦の不足から75才以上のガン患者には放射線治療を停止すると発表、人々に衝撃を与えた。結局、政府の援助もあって3月末、治療を停止するのは、75才以上の前立腺ガンの男性患者と70才以上の乳ガン手術完了後の女性患者の、いずれも必要度の低い患者に限定されることになり、一応落ち着いた。しかし、医療現場での人手不足を象徴する事件として、社会に与えた影響は無視し得ないであろう。

もともとこの事件は、カロリンスカ病院にいた20人の腫瘍科看護婦のうち6人が大挙して辞職したことに起因している。彼女達が新聞に語ったところによると、「苦痛に比して、賃金が低く、社会的ステータスも低い、加えて、自分の向上を図るチャンスも少ない」ためだそうである。

ストックホルム県の場合、看護婦の賃金は8500

クローナから11000クローナであった。これはまさにブルーカラーの平均賃金といったところであるが、社宅など民間企業なら普通提供されるフリンジ、ベネフィットが少なく労働条件は良いとは言えない。この事件の結果、カロリンスカ病院では腫瘍科看護婦の給与を月500クローナ増額し、その後4月末に妥結した賃金交渉では、全国の看護婦が最低11.5%の賃上げを保障されることとなった。しかし、賃上げ分の、 $\frac{2}{3}$ は税金で持たせてしまうことを考えるとどの程度効果があるのであろうか。

87年には、全国で326人が腫瘍科看護婦として働いていたが、その43%はパートタイムであったという。

腫瘍科看護婦の養成期間は2年半で、一般の看護婦はセミナー参加で資格を得られることになっている。しかし、近年では希望者が減少し、養成コースの定員は64あるのに昨秋は47人しか志望者がなかった。

このような医療従事者の極端な不足は、今年が選挙の年であることもあり、「医療の危機」としてマスコミや各政党によって大々的に取り上げられている。4月8日には国会において特別の本会議が開かれ、各党党首が論陣を張った。そこでの論議は極めてスウェーデン的なものであった。穏健連合党(保守党)を除く全ての政党が、医療従事者の待遇を改善するために増税を提案したのであった。租税負担率は既に55%を超えているのである。唯一穏健連合党(議席数22%)のみが私

的経営主体による医療を認めることによる医療の効率化を主張したのであった。

6月に入ると各党は一斉に選挙綱領を発表したが、穏健連合党はこの中でも「順番待ちの解消」とともに「医療独占の改善～医療選択の自由」を重点項目として掲げた。これには自由党（議席数14%）も共同歩調を取り、全く同じスローガンを採択した。

9月の総選挙を控えて、穏健連合党、自由党、そして、中央党（議席数12%）の野党三党は連携の動きを強めている。最近の世論調査では国民は福祉政策を環境、法と秩序に次いで三番目に重要な争点と考えている。医療についてもこれまでのように完全公営主義をとるのか、一部民営化するのか、その方向は選挙によってはっきりするであろう。（1988.8.3）

## <ニュース>

### 岡沢憲芙教授出版記念会

当研究所理事で早稲田大学教授の岡沢憲芙氏は、スウェーデンでの在外研究を終えられてから3か年が過ぎたが、その間大学での教務主任としての激務のなかで、研究成果として『スウェーデンは、いま』（早稲田大学出版部、1987年）、『政党』（東京大学出版会、1988年）を世に問われ、このほど『スウェーデン現代政治』（東京大学出版会、1988年）を出版された。

この最近作はスウェーデン社会をデモクラシーの実験という視点から特徴的な制度を中心に論述したもので、平易な記述ながら、極めて学問的価値の高いものである。

さてこのたびの出版を機会に、去る12月3日（土）夕、キャピトル東急ホテルで出版記念会が開催されたが、スウェーデン大使ほか当研究所からは西村理事長、平田前所長他が出席、200名をこえる参加者と共に今後のご活躍とご発展を祈念したことであった。

## 新刊紹介

### 女たちのスウェーデン

塚口レグランド淑子氏著

スウェーデンの女性は、世界でもっとも「解放」されているという定評がある。有職率が高く、しかも職場での男女差別禁止の法制化が着実に定着しているといわれる。

著者は20年ほどのスウェーデンの生活経験とその前後の日本での経験を比較して、両国の女性の在り方の相違の著しさに着目し、「女であること」の意味、女の生き甲斐の把握に真剣に取り組んでいる。

特に、60年代から70年代にかけて、児童・老人福祉の充実を背景に、スウェーデンの社会で目立って来た就業構造の大きな変化により、女性が家庭を出て外で仕事をもつようになった結果、離婚がふえ、家庭の破壊を誘導するのではないかと云う疑問もとりあげている。

これらの問題に対して、著書は真剣に且つ具体的に解答しようと努めており、この面の必見の書として推せんしたい。

1988年8月発行（株式会社 勤草書房出版 定価1,700円）

## <SIP ニュース>

### 伸び続けるスウェーデン人の平均寿命

中央統計局の調査によると、スウェーデン人の平均寿命は今だに伸び続けており、1987年度のスウェーデン人の平均寿命は、女性80.2歳、男性74.2歳であったが、男女共、前年度に比べ、0.2歳の伸びであった。国際的に見て、スウェーデンは、日本、アイスランドにつぐ世界第3位の長寿国である。

女性の平均寿命は過去30年間に、着実に伸び続けている。逆に、死亡率は一部の年齢層（15-19歳、死亡率がわずかな上昇を示している）を除き、あらゆる年齢層で下降を示している。100歳以上の女性

はますます珍しくなくなってきたり、1988年初期には我国に100歳以上の婦人が全部で450名存在した。なお、この数は過去10年間で2倍強の伸びを示している。

## 昭和63年度研究月報目次一覧

- No. 1 年頭の御挨拶 ……西村光夫  
New Year's Message  
…アニータ・ネースストレーム報道官  
謹賀新年 ……松前重義  
スウェーデンの諮問調査委員会の役割  
……福本歌子  
研究所の活動メモ (62年)
- No. 2 元駐日大使ヘクシャー博士を偲んで  
……西村光夫  
弔電に対する礼状 …ヘクシャー元大使令嬢  
「第12条ホーム」について  
(社会の不幸な少年)より抄訳(上)  
……坂田 仁
- No. 3 Scandinavia Today の行事に参加して  
……小野百合子  
(特別寄稿) スカンジナビア・トゥデーと  
音楽の諸行事 ……大東省三  
「第12条ホーム」について  
(社会の不幸な少年)より抄訳(1)  
……坂田 仁
- No. 4 スウェーデンに学ぶ生涯学習体系  
……菊池幸子  
1988/89年度予算案について(上)  
……松下正三  
(ニュース) 松下正三先生にウプサラ大学  
より名誉哲学博士号  
瑞星波濤を越ゆ(最初の来日瑞人)  
……福本一朗  
(Göteborg 通信) スウェーデン式非常食  
……三瓶恵子
- No. 5 セミナー“スウェーデン・モデルトエルラ  
ンデル=パルム時代”  
1988/89年度予算案について(下)  
……松下正三
- No. 6 最近のスウェーデンの経済と福祉  
……丸尾直美  
〈論文紹介〉スウェーデンの高等教育にお  
ける学生への財政援助と進学  
寄稿 日本人留学生パパの華麗なる休日  
……福本一朗
- No. 7.8 労働時間の短縮と「スウェーデン式ワーク  
シェアリング」 ……永山泰彦  
スウェーデン印象記 ……高橋一夫  
(Stockholm 通信) ストックホルムの住宅難  
……三瓶恵子  
(研究会ニュース) 福祉問題研究会
- No. 9 日本とスウェーデンの重なる慶び  
……小野寺百合子  
ママさん学生の見たスウェーデンの大学教育  
……福本歌子  
(新刊紹介)  
平和国家への研究(小野寺信遺稿集)  
日瑞新時代の幕開き(川崎一彦著)  
新世代の保育をデザインする(荒井冽著)
- Current Swedenの目次一覧(12)
- No. 10 88年議会選挙:社民党政権の継続と(環境  
党・緑)の議会進出 ……岡沢憲夫  
未来社会への挑戦:政治の限界  
……岡野加穂留  
米・瑞両国が相互に学ぶ機会(クリスチナ  
・エングフェルト) ……丸橋唯郎訳
- No. 11 スウェーデンの21世紀への挑戦  
……中嶋 博  
(受章のお知らせ)  
山下勇日瑞基金会長  
グンナー・ハンブレアス元瑞日基金会長  
(北欧幼児保育調査視察団報告)  
スウェーデンの幼児保育の現状  
……荒井 冽  
視察先一覧、参加者名簿  
(Stockholm通信) 1988年7月1日から施  
行・改正された法律 ……三瓶恵子
- No. 12 東京のスウェーデン・ヘディン  
……小野寺百合子  
(Stockholm 通信) 88/89年度の入学許可  
状況および“横門”からうまく大学に  
入る方法について ……三瓶恵子  
(寄稿) 人手不足に悩むスウェーデンの医療  
……宇野 裕